

金沢21世紀美術館  
開館9周年記念

平成25年9月20日  
金沢21世紀美術館  
Tel. 076-220-2800

金沢21世紀美術館 ステージ・イベント

まるびいdeパーティ9 開館9周年記念バースデーコンサート

## Avanti! 音楽のネクストジェネレーション—北欧より



フィンランドで今注目を浴びている Avanti!室内アンサンブルは、独自の語法や新しいアプローチでフィンランドから世界へ音楽を発信するという役割を担って進化し続けている。そんな彼らのメンタリティを共有し、次代につながる新しい音楽の可能性を共感しよう。

2010年にフィンランドの Avanti!サマー・サウンド・フェスティバルのテーマ作曲家として招待された一柳慧自らのプロデュースで実現する今回のコンサート。世界初演となる、自身の新作「クラリネット六重奏曲」に、フィンランドが生んだ大作曲家シベリウス、同国で広く支持されている現代の作曲家ノルドグレン等の知られざる室内楽作品を加えた、渾身のプログラムをお届けします。世界屈指の名クラリネット奏者、カリ・クリックによるモーツァルト「クラリネット五重奏曲」も聴き逃せません。

金沢21世紀美術館の開館記念日を祝う10月9日、冴えわたる「Avanti!」の響きをどうぞお楽しみください!

<取材申込み/問い合わせ先>  
金沢21世紀美術館  
広報担当：中山（広報室） 事業担当：近藤、金子（交流課）  
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1  
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802  
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: [press@kanazawa21.jp](mailto:press@kanazawa21.jp)

※ 貴媒体にて事前告知、及び本番の取材をお願いいたします。  
※ 取材をご希望の方は、お手数ですが必ず事前にご連絡ください。  
※ 取材に関しては次ページを参照下さい

## ★開催概要

【日時】 2013年10月9日（水） 19：00開演（18：30開場）

【会場】 金沢21世紀美術館 シアター21

【チケット】（全席自由）

前売 一般2,500円、学生1,900円、友の会1,900円

当日 一般3,000円、学生2,500円、友の会2,500円

※友の会会員の方は、美術館内でのご購入に限ります。優先入場あり。開場10分前にお越し下さい。

※入場時に友の会会員証、学生証の提示をお願いします。


※未就学児のご入場はご遠慮願います。託児サービスをご利用下さい。

【前売り券取扱い】 金沢21世紀美術館 ミュージアムショップ TEL 076-236-6072

ローソンチケット（Lコード：59572） TEL 0570-000-777

【託児サービス】 有料・要申込（お問合せ 076-220-2815）

【主催】 金沢21世紀美術館 [(公財)金沢芸術創造財団]

【助成】  平成25年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

【後援】 フィンランド大使館、日本フィンランド新音楽協会、フィンランドセンター、  
一般社団法人日本クラリネット協会

【お問い合わせ】 金沢21世紀美術館交流課 TEL 076-220-2811

※都合により演奏曲、出演者等が変更になる場合がございます。

## 2013 共同招聘 来日公演スケジュール

### 神奈川公演

10/5（土） 15:00 開演 神奈川県民ホール 小ホール お問合せ：045-662-8866 チケットかながわ

### 東京公演

10/6（日） 14:30 開演 東京ウィメンズプラザホール お問合せ：03-5766-3732 トーキョーワンダーサイト

## ★金沢プログラムの特徴

金沢公演では、一柳慧が今回のために書き下ろした世界初演となる「クラリネット六重奏曲」、フィンランドの大作曲家シベリウス、現代の作曲家ノルドグレンなどの知られざる名曲、また室内楽の秀作であるモーツァルトの「クラリネット五重奏曲」を Avanti!室内アンサンブルの冴えわたる演奏でお届けします。

### 【PROGRAM】

J.シベリウス：マリンコニア  
Jean SIBELIUS : Malinconia (cello, piano)

ユッカ・ティエンス：Rack  
Jukka TIENSUU : Rack (string quartet)

一柳慧：クラリネット六重奏曲（委嘱新作）\*世界初演  
Toshi ICHIYANAGI : Clarinet Sextet (new work) \*world premiere

E.ラウタヴァーラ：Pelimannit (村の音楽師 — ペリマンたち)  
Einojuhani RAUTAVAARA : Pelimannit (piano solo)

P.H.ノルドグレン：Sunrise at the Fuji mountain  
Per Henrik NORDGREN : Sunrise at the Fuji mountain (string quartet)

W.A.モーツァルト：クラリネット五重奏曲 K.581  
Wolfgang Amadeus MOZART : Clarinet Quintet in A major, K.581

## ◎ 音楽大国フィンランドから、次世代の音楽発信

森と湖、そしてオーロラの国などとして知られるフィンランドの人口はおよそ520万人。自然を愛し、静寂を愛することで知られる国民性は、一方で驚くほどのパワーを発揮している。今日フィンランドは、音楽大国としてサロネン、ヴァンスカ、オラモほか、世界的な指揮者を輩出。またプロのオーケストラの数はおよそ30と、人口に比して多く、数えきれないほどたくさんの室内アンサンブルの活動も盛んで、国中で年間を通じてあらゆるジャンルの、大小さまざまな音楽祭が開かれている。

## ◎ Avanti! サマー・サウンド・フェスティバル

それら数多くの音楽祭の中でも特に注目を集めているのが「Avanti!サマー・サウンド・フェスティバル」。1986年から毎年、フィンランドで2番目に古い町ボルヴォーで行われ、現代音楽を中心に幅広く多目的なプログラムが組まれている。この音楽祭の核となっているのがAvanti!(アヴァンティ)室内管弦楽団。1983年の結成以来、卓越した演奏技術で数々の知られざる名曲や現代作曲家の新作を演奏。ソロ活動をしている音楽家やオーケストラ団員など、多彩なメンバーで構成されていることを強みとして、時代やジャンルを超えたあらゆるスタイルの楽曲を最高のクオリティで聴かせるスペシャリストとして高く評価されている。

## ◎一柳慧プロデュースにより Avanti! 室内アンサンブル来日公演が実現

2010年に開催された第25回の同フェスティバルでは、テーマ作曲家として日本を代表する作曲家の一人である一柳慧が、アジア初のゲストとして迎えられた。町ぐるみのフェスティバルに参加し、聴衆から音楽家、政治家、ジャーナリスト等さまざまな人たちとの交流に刺激を受け、またAvanti!の演奏水準の高さと音楽への誠実な姿勢に感銘を受けた一柳が、ぜひ日本にも彼らを紹介したいと奔走、自らのプロデュースで実現したのが今回の来日公演である。横浜、東京、金沢の3会場で、それぞれの街の雰囲気や会場の特徴を生かし、異なるプログラムを用意している。また一柳自身が今回のために書き下ろした来日メンバー全員で演奏する「クラリネット六重奏曲」は世界初演となる。

## ★ 出演者プロフィール

### Avanti! 室内アンサンブル

1983年、指揮者エサ=ペッカ・サロネン、ユッカ=ペッカ・サラステとフルート奏者オッリ・ポホヨラの3人がAvanti!室内管弦楽団を結成。卓越した演奏技術で数々の知られざる名曲を演奏してきた。特に現代音楽の演奏に力を入れながら、フィンランドから世界へ音楽を発信するという役割を担って進化し続けている。演奏形態はソロからオーケストラまでと変幻自在で、時代やジャンルを超えたあらゆるスタイルの楽曲を聴かせるスペシャリストとしての腕を誇る。海外での演奏活動にも積極的で、これまでにパリ、ロンドン、ニューヨークなど各地で演奏している。98年から同楽団の芸術監督を務めるカリ・クリークはフィンランド放送交響楽団、ニューヨーク・フィルハーモニックなど世界各国のオーケストラと共演、また録音も数多く、2009年にはノルディック・カウンシル音楽賞を受賞するなど、豊かな経験と確かな技術が評価され、今まさに円熟期を迎えつつあるクラリネット奏者。今回はクリークを筆頭に、11年カーネギーホールでの演奏が好評を博したAvanti!カルテット、そして気鋭の若手ピアニスト、エミル・ホルムストルムが加わり、総勢6名の「Avanti!室内アンサンブル」として来日する。

公式ウェブサイト：[www.avantimusic.fi/](http://www.avantimusic.fi/)

カリ・クリーク (クラリネット/Avanti!芸術監督) Kari Kriikku  
アンナ=レーナ・ハイコラ (ヴァイオリン) Anna-Leena Haikola  
エリーッカ・マーリスマー (ヴァイオリン) Eriikka Maalismaa  
トゥーラ・リーサロ (ヴィオラ) Tuula Riisalo  
ミッコ・イヴァルス (チェロ) Mikko Ivars  
エミル・ホルムストルム (ピアノ) Emil Holmström



Photo: Marco Borggreve

## ★カリ・クリーック氏インタビューより



Photo: Marco Borggreve

Avanti! は、過去のものとして忘れ去られた音楽に光を当て、また、私たちが生きている今現在の音楽を積極的に世の中に紹介していこうという志のもと、活動しています。今回Avanti!室内アンサンブルとして私と一緒に日本公演に参加するのは5人。ヴァイオリンの2人はヘルシンキ・フィルハーモニー管弦楽団に所属、ヴィオラのリーサロはフリーの演奏家で、Avanti!の設立当初からのメンバーの一人でもあります。チェロのイヴァルスはフィンランド放送交響楽団所属、そしてピアノのホルムストルムは現在、フィンランドの音楽界で非常にアクティブに活動しています。

今回は3公演全てに異なるタイプのプログラムを用意しました。それぞれ、私たち皆が大好きな曲で構成されています。特に気を配ったのは、1回ずつの公演プログラムが、それぞれひとつの物語として完結するようということ。一柳氏がクラリネット六重奏という、今回のアンサンブルのメンバー全員で演奏することのできる美しい曲を書いてくださったことについて大変光栄で嬉しく思っています。

カリ・クリーック Kari KRIIKKU (Avanti!室内管弦楽団 芸術監督/クラリネット)

1960年生。フィンランド出身。ヘルシンキのシベリウスアカデミーで学んだ後、英国でアラン・ハッカーに、米国でレオン・ルシアノフとチャールズ・ナイディックに師事。深遠な楽曲解釈、自在に楽器を操るかに見える卓越した演奏技術で知られ、ソリストとしてロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニックなど世界中のオーケストラと共演。前回2004年の来日時にはNHK交響楽団とも共演し好評を博した。

Avanti!室内管弦楽団の創立メンバーの一人であり、1998年以来、同管弦楽団の芸術監督を務めている。2009年ノルディック・カウンシル音楽賞受賞。

## ★一柳慧氏インタビューより



今回の3館のプログラムは「現代音楽と古典とを組み合わせることでそれぞれの良さを引き出し、新しい音楽との出会いを可能にする」という本家のサマー・サウンド・フェスティバルにおけるプログラミングのコンセプトに倣ったものです。また彼ら一人一人の演奏水準がきわめて高いので、クラシック作品も取り上げました。このように古典と現代を組み合わせることで相乗効果が生まれ、新しい発見が可能になり、音楽の未来を見据える視点にもつながっていくと思います。

私の新作「クラリネット六重奏曲」は、Avanti!の芸術監督で世界5指に入るほどの優れたクラリネット奏者、カリ・クリーックさんの抒情的かつポエティカルな資質を活かした作品になりました。

一柳 慧 Toshi ICHIYANAGI (作曲家・ピアニスト)

1933年神戸生まれ。54年にニューヨークへ留学、ニューヨークを中心にジョン・ケージ、デヴィッド・テュードアらと実験的な音楽活動を展開。尾高賞4度、フランス文化勲章、毎日芸術賞、サントリー音楽賞など受賞多数。2006年オペラ「愛の白夜」、09年ピアノ協奏曲第4番「JAZZ」、12年オペラ「ハーメルンの笛吹き男」などを神奈川で初演。現在、公益財団法人神奈川芸術文化財団芸術総監督、トーキョーワンダーサイトミュージックプログラム・スーパーバイザーなどを務める。

金沢21世紀美術館では「ゲルハルト・リヒター展」(2005)での演奏をはじめ、「荒野のグラフィズム:栗津潔展」(2008)、「愛についての100の物語」展(2010)、そして昨年10月鈴木大拙館での「Silence02」でも、その多彩な才能を披露し来館者を魅了し続けている。08年文化功労者。